

お寄せいただいた意見の概要とそれに対する市の機関の考え方

(1) 「1. 前提条件の確認・整理」について

意見の概要	市の機関の考え方
<p>P 8 エ) 春日部市の教育</p> <p>春日部市内の小中学校では、夏に開催される科学振興展覧会において優秀な成績を収めていることを考えても、市内に理科・科学教育に関する児童館や施設を設置することは大変望ましいと考えます。学校では体験できない学びをする場を提供することは、学校教育の質的向上を図ったり、市内の子供達が興味関心を高めたりするうえで重要であると考えます。</p>	<p>科学事業を行っている施設等の事業内容の把握に努めながら、市教育委員会とも連携を図り、より良い施設となるよう検討してまいります。</p>
<p>P 8 エ) 春日部市の教育</p> <p>新型コロナウイルス感染症（における新たな生活様式）への対応や AI・ロボット技術の急速な発達など、急速に変化する社会において、主体的に生き生きと生きる人材育成には、「理科・科学教育の推進」は非常に重要な視点だと感じます。学校教育における指導はもちろんですが、もっと小さいうちから素地を養うことができる児童施設の設置は非常に効果的だと思います。</p> <p>（近隣の越谷市の科学館型児童館 2 館は比較的小さな子でも楽しめる体験装置や科学講座も実施され、科学に親しみをもたせたり、科学的な好奇心を育むのにとっても効果がありそうです）</p>	

(2) 「2. 基本構想」について

意見の概要	市の機関の考え方
-------	----------

<p>子どもの遊び場、居場所として、さらに科学技術に触れる場としての科学技術学習児童館の建設事業は大変すばらしいと思います。心待ちにしております。</p>	<p>「科学にふれあい、未来をつくる」を事業コンセプトに、地域がつながり、子どもの未来が育まれる、春日部ならではの（仮称）科学技術学習児童館の整備に向け、引き続き検討してまいります。</p>
<p>科学技術学習児童館の建設計画を拝見しました。今まさに春日部市の教育に必要な施設だと思います。県内各地に所在する児童館としての同じような機能を保ちつつ、さらに科学技術や情報技術を学べ、また様々な体験を重視した、斬新な施設だと感動しました。まさに「生きる力」が育成される施設だと思います。</p>	
<p>これだけの施設が私たちの住む春日部市にできることをとても嬉しく思います。私の子どもたちをこの施設に連れていく日を楽しみにしています。</p>	

(3) 「3. 基本計画」について

意見の概要	市の機関の考え方
<p>プラネタリウム等、既存の3館にないものを作っていただきたいです。</p>	<p>多目的スペースにはスクリーン（プロジェクター）の導入を検討するほか、子どもの成長に合わせた教育内容に的確に対応した「ステップアップ型ミュージアム」という新しい考え方でアプローチすることを計画しております。</p>
<p>未就学児の安全性を確保する為、出入口と受付を別にするとよいと思います。</p>	<p>今後、建築設計を行っていく中で、各諸室の使用用途に合った材質の利用や、保護者や職員の目が行き届く空間配置等、利用者の安全性に配慮した設計を行ってまいります。</p>
<p>乳幼児が遊べる部屋の床は、消毒できる素材でクッション性のある床だと、安心して遊べると思います。</p>	<p>今後、建築設計を行っていく中で、各諸室の使用用途に合った材質の利用や、保護者や職員の目が行き届く空間配置等、利用者の安全性に配慮した設計を行ってまいります。</p>

<p>部屋の仕切りが多いと死角が多くなってしまいうので、なるべく仕切りを少なくして頂けるとよいと思います。</p>	
<p>おもちゃ図書館の併設を希望</p> <p>現在、エンゼル・ドームには「おもちゃ図書館」が併設されています。児童館内には障害児も気がねなく、自由に遊べる空間も必要ではないかと思ひます。</p>	<p>今後、おもちゃ図書館の併設等、利用者のニーズの把握に努め、障がいのあるお子さんも、ないお子さんも共に利用することができる施設や事業を検討してまいります。</p>
<p>バリアフリー化、ユニバーサルデザイン化の見直しをお願い</p> <p>障がいをもった子ども達（視覚、聴覚、肢体、精神など）への配慮のある施設。たとえば、音・触・眼での確認ができる方法を取り入れていただきたい。当事者でないと理解しにくいことも多いので話し合いを必ずもってほしいと思ひます。</p>	

P 2 8 ステップアップ型ミュージアム

子どもの成長に合わせた教育内容に対応したステップアップ型ミュージアムというのがとても良いと思います。従来の支援センターでは、年齢が高くなると、PC コーナーや学習室程度しか利用する必要がなくなるという面があったのではないかと思います。科学的な思考力や表現力を育むためには、それぞれ発達段階に応じた内容や場所が必要で、ステップアップ型ミュージアムは正にそれに対応した仕組みだと考えます。ただ、他の児童館等でも同様ですが、大きな子がたくさん集まると、小さな子やその保護者としては、少し怖かったり、遊び場所をとられたりという不安もあります。ここをうまく分けられると良いと思います（キッズスクエアが充実しているので、小さい子も安心して科学に触れながら遊べそうです）。

児童館事業としての福祉的役割、科学館事業としての教育的役割、複合施設としてこの二つの役割を持たせるのであれば、ゾーニングを十分に考えたものでないと難しいと思える。春日部市の他児童館を見てもわかるように、非常にたくさんの利用があると予測される、どの部屋も大きな人数に対応できなければならない。空いている部屋があるのに遊びたい部屋は満杯で入れないなどということが無いように多機能を持たせたい。しかしながら年長の子どもが、科学を学びたいと思ったときにそれに応え

乳幼児期、学童期、青少年期といった、子どもの成長に合わせて利用することのできる「ステップアップ型ミュージアム」の導入を計画しております。「ステップアップ型ミュージアム」の一つである「キッズスクエア（乳幼児コーナー）」は、主に乳幼児期のお子さんとその保護者の方に、ご利用していただくことを想定しております。多くの方が安心して利用できる場となるよう、必要とされる諸室及びその面積の検討を行ってまいります。

<p>るべく専門性を持った部屋も必要と思われるため、年齢・目的別のゾーニングをする必要がある。栃木県子ども総合科学館などがこの児童館に近いのかなと思うので、お調べいただいたら良いかもしれません。</p>	
<p>P 3 1 ミュージアム・I (ベーシック) 科学の4つの領域を関連ごとにまとめた3つのコーナーにすることで、実生活と同じく様々な科学の事象・現象が関連付けられて展示されるというのがとても良いと思います。小学校理科、中学校・高校科学でも領域で関連性をもたせて学習が組み立てられているので、学校の教育とのリンクもできて、良いです。</p>	<p>子どもの居場所や子育て支援等、児童館としての役割を備え持つ必要があると考えております。その上で、市教育委員会と連携を図りながら、学校の団体利用も含め、より多くの児童に利用していただき、未来を担う春日部の子どもたちから「未来の科学者」を輩出する場となるよう検討してまいります。</p>
<p>科学（化学）中心の特化した施設寄りに作っても良いと思います。（小学校との連携が取れると思います。）</p>	
<p>完成はまだ先の話ですが、計画を見ているだけでわくわくする施設です。完成したあとは、各学校での団体利用も考えていただけるとありがたいです。</p>	
<p>計画を拝見し、すばらしい施設ができることを知りました。仮称には「学習」の文字が入っていますが、子どもたちにとって児童館は楽しく遊ぶところ。遊びが生きてはたらく学びへとつながります。これだけ魅力ある施設が出来上がれば、武里地区の子どもたちだけでなく、市内外から家族連れで集まってくることでしょう。その中で、科学的な体験がたくさんできたら子どもたちはうれしいと思います。北の丸公園</p>	<p>従来の「科学館」、「児童館」といった枠組みに捉われない講座を開催することにより、18歳未満のお子さんとその保護者の皆様が日常的に何度も通いたくなり、そして生涯通う場となることを目指してまいります。</p>

<p>にある科学技術館や、千葉県の市川にある現代産業科学館の講座のイメージを持ちましたが、向こうはそれだけを専門としている施設ですが、こちらはそうではないと思うので、どのような講座を実施していくかは、これからでしょうか。いずれにしても楽しみです。</p>	
<p>P 3 5～3 7 Labについて</p> <p>科学教育の実践的な3つのLabは本事業の掲げる「小さな科学者」の育成の大きなポイントだと感じました。科学的な思考力を育む素地を養う施設は近隣市にもありますが、更に突っ込んだ実践的な学びを提供できることがとても素晴らしいと思います。基本的に参加者自らがテーマを決めるようですが、科学技術は日々進歩していくので、内容が古くならないよう、また、市民の求めているものがどのようなものを常にリサーチし、プログラムをバックアップできる専門員は必須になるかと思いません。</p>	<p>本市にとって、これまでにない機能を兼ね備えた施設になることから、運営にあたり、柔軟かつ高度な発想力や、専門的な知識、技術力が必要であると考えています。施設運営にあたりましては必要な人材確保を含め、民間活力の導入も検討してまいります。</p>
<p>ウィークデーは授業の一環として、市内小中学校からバスなどで、授業として科学実験等の体験教室を企画すると思いますが、この構想は子供だけでなく、社会教育の一環として保護者や一般社会人にとっても有意義だと思います。そのためには親子で参加したり、電車利用が少し不便な一般社会人にとっても利用しやすいような大きな駐車場確保をお願いします（市内児童センターや越谷ミラクル等の活動経験からも</p>	<p>十分な駐車スペースの確保に努めてまいります。</p>

<p>土日祝のイベント時には駐車スペースが足りない)。多くの子供たちや保護者の方々と共に、この楽しい計画に大いに期待しています。</p>	
--	--

(4) 「4. 建設候補地の検討」について

意見の概要	市の機関の考え方
<p>武里地区には児童館等がないため、設置地区とても大変うれしく思います。ぜひ、武里地区に科学技術学習児童館の設置を望みます。</p>	<p>本基本構想・計画の推進にあたっては、武里団地を所有している独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）と、引き続き協議してまいります。</p>
<p>児童センターが東口に多いことから西口にといった考えは大賛成。</p>	

(5) その他

意見の概要	市の機関の考え方
<p>まだ積極的に広報されていないようですが、広く計画を市民に伝えていただくと良いと思います。</p>	<p>本基本構想・計画は、令和3年3月に完成する予定です。完成後は市公式ホームページに公開します。また、本市の未来を創る新たな事業として、市内外に発信していくよう努めてまいります。</p>

参考：「春日部市（仮称）科学技術学習児童館整備基本構想・計画（案）」に対する意見の募集期間

令和3年1月4日（月）から令和3年2月2日（火）まで